

ぎょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.724

2026年9月15日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

系統別業務委員会①【運輸・営業】

系統別業務委員会において詳細に議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

9月15日、申第3号「より親しまれる会社をめざした各種施策の展開」（系統別課題）に関する申し入れ」に基づき業務委員会（運輸・営業）を開催し、会社と議論を展開した。

業務委員会においては、運輸系統の社員運用や役職定年後の主事の在り方、適正な労働時間管理、駅営業体制や車いす等の介助同行の在り方、キャリア採用の在り方等、各系統課題について多岐にわたり議論を展開した。その結果、運輸系統の社員運用の在り方として、一律運用期間を終える前にライフステージの変化があり、三職種を経験できないケースも多く生じている実態を踏まえると、プロフェッショナル職（高卒除く）の一律運用期間の見直しも含めて、不断に検討が必要であるとの考えが示されるとともに、全ての採用区分で駅スタートに統一することが望ましいとの考えも示された。

さらには、お客様にお渡しする帳票類の内、業務連絡書は担当者印の押印を廃止するとともに、車掌携帯端末においては、キャッシュレス決済対応を早期かつ安価に実現できる仕組みについて検討を行っていることを確認した。また、ユニオンがこの間主張してきた一律の休日勤務指定の解消を求めるとともに、接客制帽の通年省略、およびカスハラ防止の観点から氏名札を省略するよう主張した。

引き続き職場の実態をしっかりと伝え、「将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せ実現」に向けて交渉を展開していく。

【主な議論内容】（部分は、現時点で前進を確認した事項）

1. 運輸・営業系統（共通）

- ✓運輸系統の社員運用のあり方
- ✓各系統における適正な労働時間管理
- ✓営業戦略
- ✓公平・公正な人事評価
- ✓T等級の在り方
- ✓職場における技術継承、技術力向上のための有効的な訓練の実施
- ✓効率的な業務執行体制の確立
- ✓カスタマー ハラスメントの防止 など

2. 運輸系統

- ✓車掌携帯端末の改善
- ✓役職定年後の主事のあり方
- ✓安全・安定輸送の確立に向けた教育体制の構築
- ✓乗務員関係（養成計画、乗務員行路、制帽省略） など

3. 営業系統

- ✓新幹線各駅への「安全柵」設置
- ✓職場・地区を跨いだ運用
- ✓今後の駅営業体制の在り方
- ✓訪日外国人の対応
- ✓バリアフリー設備の充実、車いすの対応に関する問題解決に向けた取組みの強化 など

2026年3月より飯田線(天竜峡駅～宮木間)でQRコード(Pay Pay)による決済を導入したことを確認！

キャリア採用の駅業務講座の日数が1日増え6日間実施されることを確認！

2026年10月1日より業務連絡への担当者印の押印が廃止されることを確認！

車掌携帯端末において、クレジットカードや電子マネー決済などの対応を早期かつ安価に実現できる仕組みについて検討していることを確認！

今年度、静岡駅、豊橋駅の東海道新幹線ホームにおいて可動柵新設の工事が着手されることを確認！

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。